

笠間市監査委員告示第2号

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり公表する。

令和7年2月21日

笠間市監査委員 齋田 陽介

笠間市監査委員 荻谷 正

笠間市監査委員 大関 久義

財政援助団体等監査報告書

第1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定による財政援助団体等監査

第2 監査の対象及び範囲

公の施設指定管理者

対象団体	公の施設	令和5年度 指定管理料	所管課
株式会社 ムラサキスポーツ	ムラサキパークかさま（笠間芸術の森公園スケートパーク）	0円	都市計画課

監査の範囲

- (1) 公の施設の指定管理に関する事務全般
- (2) 令和5年度に執行された公の施設の管理に係る出納その他の事務

第3 監査の着眼点及び実施内容等

監査については、笠間市監査基準にのっとり、提出を求めた監査資料に基づき、指定管理者の選定、指定及び協定の締結等が適正に行われているか、また指定管理者の管理運営業務が協定書、仕様書及び事業計画書等に沿って実施されているか、また経理内容が適正妥当であるか、施設の管理に係る出納その他の事務が適正に行われているかどうかを主眼として、1月20日に所管課及び1月27日に指定管理者から説明を聴取し、関係諸帳簿並びに証拠書類を監査した。

第4 監査の結果

所管課が行った指定管理者の選定、指定及び協定の締結等の事務については、条例、規則及び指定管理者制度導入方針に沿った内容でおおむね適切に処理されていることを確認した。

笠間市と株式会社 ムラサキスポーツとの間で締結した「笠間芸術の森公園スケートパーク」の管理運営に関する基本協定書に定めるところに従っておおむね適正に管理、運営が行われているものと認められた。

第5 監査の概要

団体名：株式会社 ムラサキスポーツ

所管部課：都市建設部 都市計画課

(1) 施設の概要

ア 名称 笠間芸術の森公園スケートパーク

イ 位置 笠間市笠間2345番地

ウ 施設の概要等

総面積 25,200㎡

施設 スケート広場 多目的広場 休憩広場

管理棟 172.21㎡

駐車場

(2) 指定管理の内容

ア 指定期間 令和3年4月1日から令和13年3月31日まで

(10年間)

イ 指定管理料 0円(令和5年度)

(3) 指定管理者の概要

株式会社 ムラサキスポーツは、スポーツを通して社会に貢献することを理念として、1973年東京上野に本社を設立された。サーフィン、スノーボードなどのスポーツ用品の輸出入及び販売をメインに事業を運営されている。

令和元年度から笠間市で指定管理者候補者として、スケートボード施設の設計・施工、開園に向けた準備に携わり、令和3年4月より10年間の期間でムラサキパークかさま(笠間芸術の森公園スケートパーク)の指定管理者として管理運営を行っている。

近年はスケートパークなどのフィールド事業を展開しており、現在ムラサキパーク立川立飛、鶴沼海浜公園ムラサキパーク、ムラサキパークららぽーとEXPOCITYなどを運営している。

(4) 監査結果

ムラサキパークかさま（笠間芸術の森公園スケートパーク）は、利用者の快適かつ安全な利用を図るとともに、国際規模の大会や地域密着型の各種イベント等を開催することにより、公園の賑わいの創出や利用者の増加を図るなど魅力ある施設運営を行うことを基本方針としている。

令和5年度の指定管理においても、利用者の声を活かした施設運営に取り組み、利用者のアンケートを実施し、利用者のニーズや満足度などの把握に努められた。

公園の賑わい創出としては、笠間スポーツコミッション主催の「茨城県知事杯スケートボード大会」や「BMX Challenge Games」を開催したほか、オリンピックの選考大会につながる全国大会である「日本OPEN」や「選手権大会」を誘致開催し、全国から優れたスケーターを集めている。

更に、市内親子スケートボード体験会、市内小学校の校外学習などのイベント開催により、市内への普及促進にも貢献している。

また、コロナ禍での感染対策や、防災訓練を実施するなど適正な管理運営に努めていると認められた。

来館者は目標値である18,000人には届かず2,464人少ない15,536人となっている。

令和5年度の事業の収支状況については、収入は19,007千円の利用料金収入と自主事業収入とを併せ全体で31,819千円、支出は39,684千円で、7,865千円の赤字となっている。

(5) 今後の方向

指定管理者である株式会社 ムラサキスポーツにおいては、これまで、同施設に有能な人材を配置し、スクールの運営や多彩なイベントを開催するほか、スケートボード・BMX関連の商品開発・販売を行うことなどにより、入場者の利用促進を図ってきていることは評価したい。

今後、更に市内外からより多くの集客を図るためには、情報発信を強化するとともに、公園の魅力あるコンテンツを活かしながら、施設利用の充実やインパクトのあるイベントの開催が必要である。

例えば、中級・上級スクールの開催、新たな大会の誘致、オリジナル

商品の開発販売、CMのロケ地としてのPRなどについて積極的に進めていく必要がある。

また、地元の児童生徒の利用が進んでいないことから、地元の小中学校と連携し、総合的な学習の時間などを活用して、子どもの時からスケートボードやBMXに興味、関心を持てるような取り組みも進めるべきであると考えます。

笠間芸術の森公園で別の大規模イベントが開催される際には、ムラサキパークの利用者が当パークまでダイレクトにアクセスできるように、市当局の協力を得て導線を整備確保するとともに、事前にそのPRをしておくべきである。

今後とも、利用者のニーズを把握し、創意工夫を凝らすとともに、関係機関との連携をさらに深めながら、来場者の増加に努められたい。